

令和7年度 立科町総合教育会議録

日 時 令和7年7月24日（木曜日）午後3時30分～午後4時10分

場 所 立科町役場 大会議室

参集委員	立科町長	両角 正芳
	立科町教育長	塩澤 勝巳
	教育長職務代理	飯島 正茂
	教育委員	池田 広
	教育委員	遠山 貴美枝
	教育委員	今井 愛子

事務局 竹重総務課長 岩下財政係長 羽場教育次長 山口保育園長
伊藤社会教育・人権政策係長 山浦学校教育係長

欠席 上原児童館係長

傍聴者 1名

協議事項

- (1) 教育大綱の見直しについて
- (2) 児童生徒の状況について

羽場次長 ただいまから、令和7年度立科町総合教育会議を始めさせていただきます。それでは始めに、両角町長から挨拶をお願いいたします。

両角町長 皆さん改めましてこんにちは。
本日はお忙しい中、また暑い中、総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。
総合教育会議は、地方公共団体の長である私と教育委員会が一堂に会し、教育政策について協議・調整を行う重要な場です。この会議を通じて、私たちは教育行政に対する責任と役割を明確にし、教育政策の方向性を共有することで、地域の皆様の声を反映した教育行政を推進していくことを目指しています。
本日は、「教育大綱の見直し」について、新たな時代のニーズに応じた教育方針の検討をお願いし、皆様からの貴重なご意見を伺いながら、より良い教育行政の実現に向けて、邁進していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

羽場次長 両角町長ありがとうございました。
それでは、協議事項に入りたいと思います。本日、竹重総務課長と岩下財政係長にご出席をいただいております。
それでは、両角町長の進行をお願いいたします。

両角町長

それでは、早速、協議事項に移らせていただきます。

(1) 教育大綱の見直しについて、説明をお願いいたします。

塩澤教育長

私の方から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、教育大綱の法的根拠は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、町の教育、学術及び文化の振興に関し、町長が総合教育会議に諮り策定するものです。

教育大綱の位置付けと期間ですが、町政振興の最上位計画であります、「第6次立科町総合計画」における教育行政の基本理念、目標や施策の方針を示すものです。

教育大綱の計画期間は、町の総合計画の基本構想・前期基本計画との整合を踏まえ、令和7年度から令和11年度までの5年間としますが、必要に応じて総合教育会議で協議・調整し改訂を行います。

① 大綱の見直しに当たりましては、事前に試案を教育委員さんにお示しをし、委員さん方より頂きましたご意見や提言をふまえ加除修正を行い本案を調整いたしました。

基本理念は、「生涯にわたって学び成長できる まちづくり」ふるさとを愛し、豊かな心を育む。

目標は、「自ら学び行動し、豊かな創造力と個性でたくましく生きる人間」と「人権を尊重し、思いやりと規範をもち社会に貢献できる人間」の育成。

重点施策は、1. 知・徳・体を育む立科教育の推進、2. 子育て支援の充実、3. 学びで育む豊かで充実した生き甲斐のある人生4. 郷土の文化・芸術の保存と伝承、5. 安心して暮らせるまちづくりの推進といたしました。

先程開催いたしました定例教育委員会では、委員の皆様にご承認いただいております。

両角町長

私も修正後の教育大綱を事前にいただき、確認いたしました。基本理念等は、大きく変更することはないと思います。今回、お示しいただいた教育大綱で進めていただきたいと思います。

塩澤教育長

内容等の変更は、ありませんが、レイアウト等は、修正させていただきますので、ご承知いただきたいと思います。

両角町長

(2) 児童生徒の状況について、説明をお願いいたします。

塩澤教育長

私の方から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、児童生徒の状況についてですが、6ページをご覧ください。令和7年度たてしな保育園の園児数及びクラス編成の令和7年4月1日現在であります。カッコ内の数字は、現在の園児数であり隣の数字は、今年度中に入園予定園児数であります。未満児の年度中に入園が多い状況です。続いて7ページをご覧ください。令和7年度立科小学校・立科中学校の児童生徒数及び学級編成の令和7年4月1日現在であります。小学2年生と小学6年生の学級数は、町基準で2学級編成としております。続いて8ページをご覧ください。立科町の児童生徒数の推移です。黄色で表示してあります箇所は、国・県の1学級人数35人以下の学級です。年々、

黄色で表示される箇所が多くなっています。

池田委員 町基準で2学級編成にすると町費での雇用となり、町の負担が多くなり心配です。13年頃以降から国・県の基準以下の学級数が増えている。この先、学校の問題をどうしていくか考えなければいけないと思います。

両角町長 児童・生徒の人数が大きく増える事はないと思います。校舎の老朽化等課題がありますので、先を見据えて考えていく必要があると思います。

飯島職務代理 子どもの数の減少により、今後、中学校では、4～5学級や3学級になっていく。県から専科の配当がなくなると町費にて講師をお願いしなければならなくなり、非常に厳しい状況になる。方向性を持って検討しなければならないと思う。

塩澤教育長 中学校は、教科担任制なので、複数の教員免許を持っている県費の教員の配置をお願いしている。

小諸市でも小学校統合に向けて話しを進めている。

今後、当町の学校の方向性を進めていくには、保護者に関心を持っていただく事や理解を深めていただく事が大切と考えます。町行政との連携を進め、数年後には、方向を示さなければならない。

池田委員 見通しを持って、しっかりとした計画を立てて欲しいです。

塩澤教育長 続いて、近年の中学校卒業者の進路状況は別添資料のとおりです。

池田委員 進学校に入学している生徒が多い。

塩澤教育長 立科中学校の学力調査の成績も高い状況です。

両角町長 その他によろしいでしょうか。それでは、(2)児童生徒の状況については、これで終了とさせていただきます。

次に(3)その他について何かありますか。

その他はないようですので、協議事項は以上とさせていただきます。事務局にお返しします。

羽場次長 両角町長進行ありがとうございました。また、竹重総務課長、岩下財政係長、出席ありがとうございました。

教育委員の皆様には、この前に開催しました定例教育委員会を含め、長時間に渡って大変貴重なご意見等いただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度立科町総合教育会議を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。